



# 三郷小学校



令和2年2月26日(水)

学校通信 第14号

三郷小学校 校長 梶原 直樹

学校ホームページも是非ご覧下さい。 <http://syou.oita-ed.jp/hakatu/misato/>

## 悔し涙に散った、かるた大会

今年は、3チーム（高学年2チーム、低学年1チーム）が参加しました。

結果は、低学年がベスト4進出、勝ち抜き戦で惜しくも敗退。子どもたちも予想外の敗退に悔し涙で、その場に泣き崩れました。同級生や指導者が、優しく労う姿は感動しました。

子どもたちも100人（33チーム）参加の大会でしたので、雰囲気にも飲まれて実力を出せない子どももいました。

一生懸命取り組んだことは、本人の大きな力、経験になり今後の学校生活に活かせると確信しました。

帰りのバスでは、遠足に行った時のように笑顔でお菓子を食べる姿は、達成感に満ちていました。

子どもたちの目標「優勝」が達成できなかったもので、申し訳なく思います。（指導不足が…）

引率・応援してくれた先生方、ありがとうございました。

以上（指導して下さった渡邊熙さん談）

大会前1週間は、毎日昼休みに指導に来てくださる熱の入れようでした。決して指導不足などは、子どもたちも学校も思いません。むしろ、このような大会で活躍して涙を流すまでに指導して下さったことに感謝です。今後の課題は、人や雰囲気にも飲まれない強い精神力をつけることだと思います。

## 親子でプログラミング教室 with 姫島を満喫!

2月8日～9日の1泊2日で姫島で親子プログラミングキャンプが開催されました。

(公財)ハイパーネットワーク社会研究所の主催で今年初めて開催されたものです。

関係者より、県内で1番に声をかけていただき即、参加をお願いしました。5、6年生に参加

案内をしたところ、保護者も子どもも意欲的に参加表明をしてくれました。9名もの子どもたちが参加しました。

今後、教育課程に位置づけられるプログラミング学習を、最先端の機器を一人1台に与えられ、ロボットを動かしたり、ドローンを飛ばしたりと最高の環境でたっぷり満喫できました。一緒に参加した保護者は、周りから取り組みの様子を見ていましたが、思わず手を出しそう、口を出しそうになっていました。ある保護者は、主催者に「保護者用の機材はないの?」と意欲的な発言があり、担当者がびっくりしていました。

5年生の木下先生も親子で参加しましたが、今後の指導に意欲を見せていました。

このイベントは、子どもは無料で大人は、宿泊代のみの大盤振る舞いで、参加した親子は大いにお得な、お値段以上の内容だったと思います。

私も参加しましたが、イベントの前後はもちろん車海老やタコ料理に舌鼓をうちました。こんな機会をたくさん利用し、学びを深めてもらいたいと思います。

## 令和2年度新入学児童入学説明会 ～1年生との交流会

2月13日 来年度入学する新入学児童の保護者への説明会が行われました。

残念なことに、来年度は大幅に人数が減って5名（男子3名、女子2名）の予定です。

4名は、兄弟が本校に通っており、1名が初めて三郷小学校の門をくぐることになります。

学校教育目標や取組内容を説明しました。

この数日後に子どもたちは各園から先生と一緒に現1年生（一つ先輩）との交流会にやってきました。5人の新入生は、とてもお行儀がよく、校内探検や現1年生との交流会を楽しみました。

4月13日（月）の入学式までケガや病気に気をつけて、元気に校門をくぐってくれることを願っています。在校生一同、待っていますよ～!



## 新型コロナウイルスに関するお願い

全世界が特效薬のない新型コロナウイルス対策に、不安を募らせています。毎日、感染や死亡のニュースを見聞きして、学校現場でも可能な限りの対応策を講じているところです。そのような状況において、学校で取るべき対応は、「防疫」しかありません。学校に配布されている消毒液やマスクは限られています。今、一番の「防疫」は、次のように考えています。

### 1 徹底した手洗い。

- 手指はもちろん、爪や手首までをしっかりと石鹸で洗うこと。
- 顔やマスクをなるべく手で触れないこと。
- 丁寧な手洗いに越したことはありませんが、むしろ頻繁に回数をこなした方が効果的とのこと。
- 保健室から、正しい手洗いの仕方のプリントを出しました。

### 2 ウィルスを侵入させにくくするために、正しいうがいをする。

- うがいは、1～2回では口の中にウィルスを広げさせるだけで、しっかりと6回は行う必要がある。(ガラガラうがいは6回) 7回以上は、効果は変わらないとのこと。

### 3 不要不急の外出を控えたり、部活動等の対外試合等の自粛。

- 本校にインフルエンザが流行するのは殆どがこの場合です。感染経路が特定できずに感染している県外の事例からも、「自分は大丈夫」という意識を捨てましょう。

### 4 うつらないことを考えることも大切だが、うつさないことが感染を拡大させない最大の手段。

- マスクは、移らないためだと考えず、写さないための手段と考えてください。
- 現在マスクが手に入らない状況です。キッ

チンペーパーと輪ゴムでできる簡易マスクやハンドタオルを使ったマスクなど、たくさんの工夫されたマスクがネット上にアップされていますので、ご覧ください。

### 5 体がだるい、熱が4日以上続くなどの症状がある場合は、登校せず状況を保健所に報告し、対応を尋ねるなどの対応をしてください。

- 感染が心配な場合は、すぐに医者に行かず、電話で状況を伝え、濃厚接触者を増やさないようにしましょう。
- 保健所への問い合わせが有効です。

その他詳しい内容は、インターネットや新聞、ニュースなどの情報を参考にしてください。私たちが、できる限りの「防疫」体制をとり、感染予防に努めたいと思います。

ご家庭、地域の方々もこの危機的状況をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

## 災害体験教室

2月26日に「起震車」「煙体験」の災害体験教室を行いました。先日の抜き打ち避難訓練で講師から指摘された、「まずは、指導者が地震の怖さを知れ！」を受け、この体験教室を実施しました。大人は震度7、子どもは震度6を全員体験しました。揺れることが分かっている、本当に怖かったです。

災害対応や感染防止の防疫対応など、予測ができないことでも起こりうる事柄から、常に準備をしておくことが大事です。職員には、常に「予め（あらかじめ）」の気持ちを忘れるな、を合い言葉にしています。

家庭や地域でも折に触れて話題にするだけでも「予め」。災害がないことが一番ですが・・・。

### 【編集後記】

今回、内容が盛りだくさんで写真を入れられませんでした。ホームページには、主な行事はアップしています。今年度も、最後まで子どもたちと頑張ります。